

好評です。任天堂ゲーム機「Wii」 仲間と笑って、心身とも健やかに



社協 ニュース

No. **55**

発行/
平成24年7月1日
編集/
七飯町社会福祉協議会
七飯町本町4丁目8-1
七飯町地域センター内
TEL 65-2067

ホームページ
<http://www.nanae-shakyo.com/>

Wiiゲームで脳を活性化

世代間交流やサロン等のイベントで、

ぜひ活用してください。

「年だからテレビゲームなんて無理！」なんて思っていますか？

老人クラブやまびこ会（吉田耕治会長）では、会員約40名の参加でテレビゲームに挑戦、最初は戸惑いもありましたが、時間が経つにつれ会場は大盛況になり、大きな声をだし

気合を入れる人もあれば、大声で笑つ人もあり、仲間から「それ!!」「打て!!」「ボタン押して!!」と大声援を送られ夢中になってゲームを楽しみ、ひと時童心に返っていました。

参加した女性会員は「とても楽しかった。今日は興奮して寝られないかも。」「会員同士、お互いの交流を深めることができた。」「今度孫と一緒にやってみたい」「これからは何事にも挑戦して、元気で若々しい老人として生きていければいいな」などと感想を話されていました。

介護予防と認知症予防を兼ねたこの事業は町内会や老人クラブ及びボランティア団体等へ貸し出しをしています。会員同士の交流や世代間交流などにご利用してください。

ゲームを行ないながら指先や手首、身体を動かすことで、脳にも良い刺激を与えることがわかってきました。実際に一部の介護リハビリ施設で、ゲーム機を取り入れているところもあります。

七飯町も高齢化社会によって認知症が懸念される高齢者も少なくありませんから、手軽で実践しやすく認知症予防としてもこのようなテレビゲームはとても有効で効果的です。

社協では町内に笑顔が溢れ地域の方々が安心して暮らせる街づくりをめざし、さらには元気な高齢者がたくさん活躍できるように、外出の機会を作り、認知症予防や筋力低下予防などに役立つ事業を展開しています。どんなことでもご相談ください。

平成23年度 事業報告

社会福祉協議会は「安心・安全・住みよいまちづくり」をめざし、行政をはじめ幅広い関係者と連携、協働のもと、事業を展開してきました。

特に、平成23年度では、任天堂ゲーム機Wii、認知症予防プログラム「ふまねっと」を導入し、各種団体へ出向き介護予防及び健康維持を図りつつ、社協の事業を説明してきました。

独自事業では、平成16年7月から、社協車輛「なかよし号」を地域の皆さまへ貸し出し、より良い活用のため利用者の方々の声を生かし、随時運行委員会にて対応してきました。

台となっております。高齢者ばかりではなく、若い世代への支援にも努めました。

町の委託事業では、「外出支援サービス事業」「生きがい活動通所支援事業」「障害者訪問入浴事業」「障害者移動支援事業」など利用者が不安にならないよう細心の注意をはらい業務にあたりました。

社会福祉協議会は、様々な活動を通して福祉理念の共有と普及、定着化を図るため各種事業を展開してまいりました。

車輛は町内会等の入浴支援や道内への親睦会、研修会等にも活用いただき、高齢者のみならず老若男女に喜ばれ、活動の輪が着実に広がりをみせています。

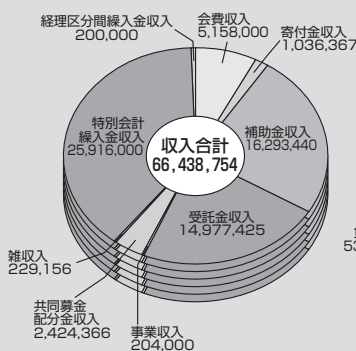
福祉機器貸し出し事業では、平成22年度電動ベッド9台の貸出が平成23年度では16台、チャイルドシートについて平成22年度56台に対し、平成23年度では73

平成23年度 七飯町社会福祉協議会一般会計収支決算

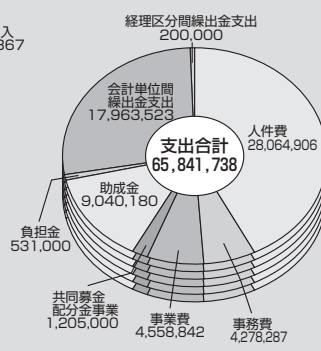
歳入については、皆様からいただいた会員会費や共同募金配分金、寄付金と、補助金、受託金、助成金、特別会計繰入金等であり、収入の部合計66,438,754円となっております。

歳出では、人件費、事務費、事業費、助成金、特別会計繰出金等で65,841,738円となっており、経常活動資金収支差額が597,016円となっております。

【歳入の部】



【歳出の部】



長引く景気の低迷や雇用情勢の悪化、年金・医療などの社会保障制度の方向性、さらに東日本震災の復興に向けた対応や財源等、経済社会は混迷を深め、非常に厳しい状況にあります。

また、地域社会では少子高齢化や住民生活の多様化等を背景に、個々の抱えるニーズや課題も複雑化、潜在化しており、特に先般、札幌市等で支援を要する方々が孤立した状況で死亡するという痛ましい事例が発生したところ です。

これまで、社会福祉協議会の中核的機関として地域を主体とした活動を展開してまいりましたが、平成24年度は、さらに要援護者支え合い事業等を通して、見守り活動や訪問活動、サロンづくりや除雪活動がスムーズに活動できるよう支援します。

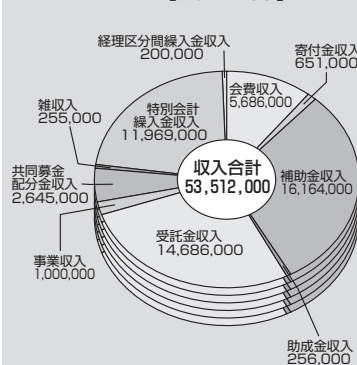
また町と連携を

平成24年度 七飯町社会福祉協議会一般会計収支予算

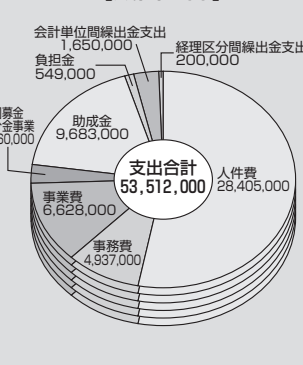
歳入歳出は、53,512千円で、昨年度と比較しますと約4,600千円の増額となっております。主な要因は、経常経費補助金が2,700千円増、町委託料1,900千円の増となっております。

限られた財源の中で、経費削減を徹底し事業を展開いたします。

【歳入の部】



【歳出の部】



し要援護者マップも整備し、関係機関と連携、協働のもと孤立死防止や防災にも強いまちづくりをめざします。

七飯町社会福祉協議会は、法人部門及び介護部門と相互の連携を十分に図り、地域に密着した、社協ならではの事業を展開しながら、地域に支持され期待される社協づくりに努めたいと思います。

平成24年度 事業計画

社協会員会費に協力 ありがとうございます

いくつになっても安心して自宅で暮らせる街を目指して……

会員のみなさまには社協の働きにご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

七飯社協は、「いくつになっても安心して自宅で暮らせる街づくり」を目指しております。社協会員会費は、そのために使われています。

この会費は、町内会の福祉活動への補助や様々な団体への補助、そして社協独自で行っている緊急医療情報キット「命のバトン」無料配付等に使用されます。

又、チャイルドシート、電動ベツド、綿あめ機、10人乗りワゴン車等の貸出し、町内会報等の印刷など地域に住み続けているみなさまへの活動のために使われています。

社協会員会費は、地域の福祉に役立つ、貴重な財源となっています。

- ・個人会員 1,000円
- ・個別会員 2,000円
- ・特別会員 3,000円
- ・団体会員 5,000円

これから未来の子どもたちのために、社協会員のみなさまと地元企業、団体の協力を得て住みよい街を創り上げていきたいと考えております。

そのためには、ひとりでも多くの方に会員になつていただき、地域福祉のためにお力をお借りしたいと願っています。

今後ともご協力をお願いいたします。

平成23年度、会員会費を納めていただいた町内会と団体（企業）等をご紹介します。

町内会紹介

本町中通り町内会	見晴町内会
本町下通り町内会	桜丘町内会
七飯町中央親交会	本町上台団地町内会
本町和町内会	本町上台町内会
南本町町内会	アカシヤ町内会
本町西部町内会	南本町第一町内会
仲よし町内会	本町町内会
正覚寺通り町内会	本町中央町内会
本町寿町内会	公宮桜団地町内会
本町駅前町内会	光陽団地町内会
本町三百睡会町内会	西部鳴川町内会
桜団地町内会	鳴川中央町内会

団体紹介

カワマタビルド(株)	そば処むら大山山店
望ヶ丘医院(株)	㈱ルネサンス北本セブン
㈱中川石油	鳴川運送(株)
㈱ななえ印刷	中水食品工業(株)
㈱金見電器	㈱天狗堂宝船
㈱アート伊藤運送	七飯アサノ生コンクリート(株)
㈱マルセツ工業	アーイク大隅(株)
東栄興業(株)	㈱毎日環境サービス
デイスサービス 小さな樹	㈱野の家の花
㈱三木電気	レストランの花
七飯南幼稚園	㈱鈴木事業所
㈱石岡工業	㈱ワタナベ電器
富原商店	㈱金子電気
㈱マルエイ柴田土建	昭和寺
㈱田福建設	昭和寺
デイスサービス北陽	昭和寺
㈱大塚自工	昭和寺
法雲寺	昭和寺
三木内科泌尿科クリニック	昭和寺
㈱グリーンオオモリ	昭和寺
㈱秋田工務店	昭和寺

鳴川協和町内会	北大川町内会
飯田町第1町内会	東大川町内会
緑町町内会	蒜沢町内会
桜町第2町内会	松の木町内会
桜町第3町内会	大川十字街町内会
桜町第四町内会	大川美園町内会
南藤城町内会	中野町内会
上藤城町内会	中島町内会
青葉台町内会	豊田町内会
藤城町内会	大沼公園親和会
峠下連合町内会	大沼親交会
高台団地町内会	大沼第1町内会
大中山高見町内会	吉野山町内会
上大中山町内会	川尻町内会
大中山中央町内会	軍川親交会連合会
上湯出川町内会	東大沼町内会
湯出川団地町内会	西大沼町内会
湯出川町内会	太陽実行組合

㈱羽衣運輸	㈱順工務店
創価学会	㈱石田時計店
大信寺	奴壽司
源雄寺	青山石油
㈱秋田建築板金	正覚寺
㈱ハルキ函館営業所	ウエルネス薬局七飯店
㈱七飯花自動車商会	ななえ新病院
㈱シンオシマ	ケアハウス豊寿
大竹運送(株)	伏見清掃(株)
明林寺	七飯訪問治療所
㈱工房 蕎麦小屋	七飯善社七飯店
ママトカハシ(㈱北海道情報館)	㈱博善社七飯店
湊商事(株)七飯給油所	㈱第一印刷
あかまつ調剤薬局	七飯パークゴルフ協会
㈱佐藤運輸	上海パール
㈱渡辺組土建	かみむら
㈱七飯砕石工業	宝琳寺
㈱立青会 なるかわ病院	
㈱古館自動車サービスセンター	
函館脳神経外科七飯クリニック	
㈱かわじり生花店	
函館信用金庫七飯支店	
㈱花彦	
㈱ハートハイツ かなえ	
㈱藤田板金工業	
㈱マルタツ庭食品	
㈱八晃建設	
㈱かなえ葬祭	
㈱松田電設	
北海道旅客鉄道(株)七飯駅	
㈱ヤマキ小売	
J A新函館七飯支店	
藤建設工業(株)	
松栄建設(株)	
つばな かなえ店	
㈱久慈製作所	
ただ調剤薬局	
㈱花かぞく福祉会	
㈱ツルハドラッグ七飯店	
㈱加藤栄好堂	
㈱テルメ かなえ	
老人保健施設 かなえ	
福道南福祉ねっと	

特別会員紹介

大沼歯科クリニック
丸山内科医院
みよデンタルクリニック
ひよこクリニック
たかはし皮膚科クリニック
佐藤歯科クリニック
向井クリニック
三嶋神社
ホーム薬局
くどう眼科クリニック
松倉整形外科クリニック
宮村内科医院
福島神経クリニック
はるこどもクリニック
鼻咽喉科・矯正科クリニック
美村獣医医院
かねたか歯科医院
大村和久

敬称略

町内会・企業 活動紹介

「体力テスト」

にんにく沢町内会（野館浩之会長）で、5月16日㈪に大川コミュニティセンターにおいて、65歳



て、公認体力テスト判定員の藤川清吉氏のメリハリある指導のもと少し緊張しながら楽しんでいました。体力テストは、運動能力といわれている身体的要素で高齢者が体力を保持増進し、健康で生きがいのある豊かな日常生活を送るための基本となる体力の状況を把握することを目的としています。筋力（握力）・柔軟性（長座体前屈）・筋持久力（上体起こし）・平



以上の町内会会員を対象に体力測定を実施しました。町内会単位では初めての試みで、会員約20名が参加し



ぱり日頃運動していないと駄目だな」など、さまざまな感想を話合っていました。

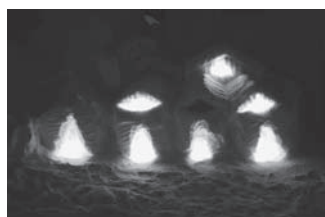
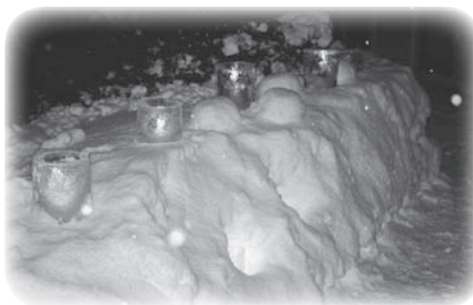
参加者の中には、今回初めて体力テストを受けた人もいて、年齢別の平均値と比較して自分の結果が気になっていたようです。今後は定期的に体力テストを行い、参加者の意識を高め健康で年齢を重ねていけるように健康寿命を延ばしていければと思います。

「アイスキャンドル」

シバれて来ました

良く暖まって一杯やりましょう

ばかばかしいと思ったり
思わなかったりして……



寿町内会（三品稔会長）では平成6年の第1回目からあいことばを変えず17回目（暖冬で2回中止）の今年も「アイスキャンドルと雪あかりの路」を行いました。今年の大雪とシバレをものともせず、素敵なキャンドルを作り上げました。毎年楽しみにしている会員の方々は作品を見ながら寿会館に集まりにぎやかな夜を過ごしました。ロマンチックな町内会行事ですね。

大沼交通「ふまねっと」体験

大沼交通は、毎年「春の交通安全大会」を開催しています。

今年は4月10日ポロト館で行われ、社会福祉協議会も1時間研修の時間をいただき、認知症についてのお話をさせていただきました。

認知症と向き合うためには、4大原則があり

1 常に「笑顔」で接すること。
2 絶対に怒らないこと。
3 絶対に急がせないこと。
4 絶対に理屈で説明しないこと。

相手を不安な気持ちにさせず、笑顔で接することでコミュニケーションを図ることができることを説明したあと、高齢者認知症予防プログラム「ふまねっと」を体験していただきました。

「ふまねっと」とは、50センチ四方のマスを踏まないようにゆっくり歩く運動です。ステップを間違えないように「学習」しながら、歩行バランスを改善し、脳機能の向上を重視したプログラムとなっています。

参加者は、緊張しながら順番に歩き、誰かが間違えると大きな笑い声がおこり、なごやかな研修となりました。



地域要援護者支え合い事業

平成23年度の地域要援護者支え合い事業では46町内会より実績報告を受けました。
今回は各町内会の活動内容の一部をご紹介します。

【見守り活動】27町内会が申請

毎月定期的に訪問する友達訪問活動
原則2人1組で安否確認をし、誕生日には花束を持参しました。
命のバトン活用の働きかけを行ないました。
月一回以上対面し会話を楽しみ、町の広報や町内会報を届けながら安否確認をしました。
毎月定期的に訪問して近況など話し合いをしています。
出来るだけ町内会行事に参加するように努めています。

【見守り活動】35町内会が申請

ひとり暮らし高齢者の安否確認運動
カーテンの開け閉め、新聞受け、案内灯などに気をつけ普段と異なる時をいち早く見つけて安否確認をしました。
顔を合わせた時に体調や困りごとなど聴くようにしたり家の明かりや郵便受けなどの確認をしています。

【交流活動】25町内会が申請

ひとり暮らし高齢者の方々とのお会食会及び茶話会の開催
長寿を祝う会、新年交流会を開催し、会食及びビンゴゲームやカラオケ等で一人暮らし高齢者と町内会会員と親睦を深めました。
歩行困難の為、高齢者の自宅を訪問し開催しています。

【交流活動】13町内会が申請

高齢者と子供のつどいの開催
高齢者と子ども、町内会の人々と祭典でのゲームや



会食を実施しました。
7月に七夕の会を実施し、昔の七夕の様子や飾りつけなど子供と大人の交流を持ちました。
地域の力ボチャ大会でお年寄りと子供のゲーム等を行う・ミニカー競争等
節分に中学校の体育館で餅や豆まきを行なっています。

【福祉活動】33町内会が申請

ひとり暮らしの高齢者宅の除排雪活動
積雪の度、玄関から公道までの避難の確保をしたり、高齢者の使用するゴミかごのまわりや歩道の除雪をしました。
活動者を中心として手作業と除雪機による除排雪をしました。

【福祉活動】35町内会が申請

地域での景観づくり活動
年3回（5月、8月、10月）清掃活動を実施しております。
プランターに花の苗の移植を行なっています。
該当者を含めて河川及び周辺を清掃し、また会館跡地に花壇を作り、環境整備を行ないました。
行事としての春の清掃
随時、ゴミラッシュの整備・塗装を実施しました。

【福祉活動】14町内会が申請

町内会館等を利用してのふれあいサロンづくり
町の保健師さんに血圧と体脂肪を計ってもらった後、健康についてのお話と、何処でもできる簡単な体操を教えていただき、その後お茶を飲みながら会



話を楽しみました。
毎週一回会館に集まりゲーム・談話で交流しました。

【福祉活動】17町内会が申請

入浴・外出支援
普段温泉など行かない方を誘いアップル温泉に入浴。いろいろと雑談して楽しいひと時を過ごしました。

・日帰りで温泉や景勝地を訪れ親睦と交流を深めました。

【健康づくり活動】15町内会が申請

地域での軽スポーツの実施
「パークゴルフ」「卓球」「ディスコ」等を開催し、地域での軽スポーツに励んでいます。
高齢者の健康維持・増進を目的として毎週火曜日に規則正しくストレッチ・リズムを取り入れた軽体操を行なっています。

【介護予防活動】4町内会が申請

介護教室の開催
専門家のアドバイスを受けたり、なかの苑で介護予防教室を開催しました。
AEDの使用方法的講習、介護についてのお話を聞きました。

【啓発・広報活動】29町内会が申請

地域ごとの福祉だよりの発行
毎月一回「全家庭配布の町内会だより」を発行。情報の提供や交流を行なっています。

除雪機貸出し事業では5町内会が利用しました。

各町内会からは大変役立ったといった声も聞かれましたが、近年にないほどの大雪であった為、ブレード式除雪機を使用した町内会からはもっと馬力があつたほうが良かったと意見もありました。
24年度はさらに台数も増え、より一層皆さまのお役に立てるのではないかと思います。

七飯町ボランティア連絡協議会

研修・交流会

七飯町ボランティア連絡協議会(岩本美智子会長)の研修・交流会が3月10日(土)、文化センタースターホールで開催され、ボランティアの方々約70名が参加されました。

演 題…「身近な人をもっと理解するために」
講 師…社会福祉法人 函館共愛会 共愛会病院 院長 福島安義氏

男性と女性の脳はここまで違うのか。と会場にいる私達は福島先生の話に引き込まれていきました。「男性は物を探るのが苦手な方が多く、女性は地図を見るのが苦手な方が多い」と話し、関心と笑いがあふれた講演でした。

函館の共愛会病院で院長として勤務されている福島先生は「男性と女性には身体的にも精神的にも違いがあり、脳の構造も違いがあ



るので身近な人をもっと理解していくためお互いを尊重し合うことが大切」と話されていました。続いて行われた実践発表では七飯町立大沼中学校鈴蘭谷分校の生徒さん達と取り組んだボランティア活動の報告がありました。大沼湖畔清掃活動や冬に行われた雪と氷の祭典に熱心に取り組んだりした生徒に感激したり、生徒さん達と植えた花がお客さんに喜ばれた事を熱心にお話する古館先生をみて心が温かくなりました。

またボランティアグループあすなる会の清野会長からは二十年という長い活動期間を経験されているにもかかわらず「皆様にありがとうの言葉でいっぱい」と話され、皆様から喝采を浴びました。

昼食をはさんで、午後からは脳活性化のゲーム等で交流を深め、笑い声と笑顔のあふれる研修・交流会の一日が終わりました。

ボランティア入門講座

- ボランティアに興味のある方…
- 夏休みの課題に…
- 趣味や交流の幅を広げてみたい方…

参加者募集

■朗読コース/7月26日・木曜日・10時～11時30分

担当:朗読ボランティア あゆみの会

目の不自由な方々の為に、情報をCD等に録音し、お届けするボランティアです。文章の読み方等の基本をやさしいテキストで習います。

■要約筆記コース/7月27日・金曜日・10時～11時30分

担当:要約筆記サークル「あさがお」

会合や講演会等のイベントで、耳の不自由な方々の為に話の内容を文字で書き、スライドに映したり、ボードを使って話をする体験をします。

■手話コース(夜の部)/7月27日・金曜日・19時～20時30分

担当:手話サークル ななえゆきんこ

簡単な挨拶や会話、指文字などを習い、耳の不自由な方々への理解と協力を深めていきます。

■手話コース(昼の部)/7月31日・火曜日・10時～11時30分

担当:手話サークル ふきのとう

簡単な挨拶や会話、指文字などを習い、耳の不自由な方々への理解と協力を深めていきます。

※手話のコース 夜の部に参加希望される小学生は保護者同伴でお願いいたします。

たくさんの参加をお待ちしています(小学生以上どなたでも参加できます)

場 所:七飯町地域センター 2階 大会議室 参加費:無 料

申込締切:7月20日 金曜日

お問合せ:七飯町ボランティアセンター 65-4903

七飯町社会福祉協議会 65-2067 担当 成田

ふれあいベンチ



まだ雪も残る4月17日、ボランティアさん達によるふれあいベンチの補修作業がおこなわれました。

32台のベンチが所狭しと並び、職人肌のようなボランティアさんたちが、ペンキをつけながら、和気あいあいとベンチのお色直しをおこなっていただきました。

このふれあいベンチ事業は平成七年頃から始まり、今まで皆様の支えのお陰で17年間も設置を継続する事ができました。

しかし、年月と共に修理が難しくなっているものも出始めてきました。

今年も社協会員会費で設置されたベンチは、約半年の間バス停や坂道に設置され、いいの場としてみなさまのご利用をお待ちしております。

これからの地域で支える高齢者ケアについて

七飯町社会福祉協議会 訪問介護課

課長 岩田 志乃



私が、七飯社協で介護の仕事をしていただくとくようになり15年が経過します。その間介護保険法が導入さ

れ、そして改正があり、今後の七飯町での高齢者福祉を改めて考えると、私は介護職として最大の岐路に立っていると感じております。
増加する認知症高齢者

85歳以上の4人に1人は何らかの認知症を患っていると言われて

快適に過ごしていただくために

七飯町社会福祉協議会 通所介護課

課長 萩野 敦



「なかの苑」も平成7年の開苑より早いもので17年が過ぎました。その間、多くの皆様にご利用いただき、また地域の皆様のご理解により、現在を迎える事ができたことにお礼申し上げます。この

おります。この七飯町でも例外ではなく、私たちがこの仕事をさせていただき、この数年、特に一人暮らし・高齢者世帯の認知症利用者が、確実に増えていると実感しております。多くの利用者と出会い、経験させていただく中で、「認知症を患っても住み慣れた家で生活することが出来る」ということも仕事を通して教えていただきました。

地域の良き助っ人は、「シニア世代」

介護保険サービスのみでは、地域の高齢者の生活を支えることは難しいと感じております。特に今回の介護保険法改正では「地域の支えあい」を強く推し進めています。七飯町には、力強いシニア世

代が中心となつて、支援体制がとても良く機能している地域があります。今後、地域住民の知識と経験を活かした組織づくりが大切です。そして、私たち在宅の介護職も高齢者の生活を支える為、地域の方々との連携が必要だと痛切に感じております。

代が中心となつて、支援体制がとても良く機能している地域があります。今後、地域住民の知識と経験を活かした組織づくりが大切です。そして、私たち在宅の介護職も高齢者の生活を支える為、地域の方々との連携が必要だと痛切に感じております。

社協が目指す

「在宅での認知症ケア」

これからますます高齢者が増えていく中、介護が必要になっても住み慣れた家で安心して老後を迎えることができる柔軟なサービス体制が求められています。

の際には行きたい場所ややってみたいことを利用者の方々に聴き、可能な限り希望や要望を取り入れるようにしています。そのせいか「去年はここに行つた」「次はここに行つてみたい」等の声も聞こえており、我々職員も次の行事に向けて一層力が入っています。また、行事以外の時も裁縫の得意な方は職員の服や布巾を繕ってくださいたり、チラシでゴミ箱を作ってくださいたり、なかには進んでおしぼりを干すのを手伝ってください方もいます。一人の人が、全てを手伝ってくださる訳ではありません



ヘルパー研修風景

認知症の方は、毎日状態に変化があり、その時その時の状況に合わせた細かいケアの工夫・専門性・チームワークが必要です。そして、その方がそこでどのように生活したのかを一番大切にすべきだと思います。

七飯町社会福祉協議会が今まで培ってきた介護サービスのノウハウを活かし、地域福祉ネットワークを駆使して、住民参加型が図りやすい仕組みづくりを地域の皆様と共につくりあげていきたいです。これからも、ご指導ご協力よろしく願います。

ん。皆さん其々が、ご自分出来ることで手伝ってくれています。正直、感謝の念で一杯です。人手不足や設備の不備・老朽化等の厳しい状態の中で、さらに良いサービスを求めていくことは大変な事かもしれませんが、高い理想を持ち介護の本質をきちんと理解し、専門的な知識に基づいた技術の向上に努めるのが介護職としての責務であると感じています。そして、それが、いつも「なかの苑」を利用してくださる皆さんへの最大の恩返しであると考えています。

生活福祉資金貸付のご案内

生活福祉資金貸付制度とは、厚生労働省の要綱に基づき、他の貸付制度が利用できない低所得世帯、障害者世帯または高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談・支援により経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を目指すことを目的としています。

生活福祉資金を受けるには

1. まず、相談して下さい

生活福祉資金の貸し付けを希望する方は社会福祉協議会にご相談下さい。生活福祉資金貸付制度では、貸し付けを通じた経済的支援と併せて、貸し付けを受けた世帯が生活を安定させ、立て直しが出来るようさまざまなお手伝いをします。

2. 借入申込書を提出する

資金の貸付を申し込むには、借入申込書と必要な書類をそろえ、社会福祉協議会に提出することが必要です。また、借り入れには、資金の種類によって連帯保証人が必要です。

貸し付けについては北海道社会福祉協議会で審査を行います。審査結果によっては、資金の貸し付けが出来ない場合もあります。審査の結果は、本人に文書で通知されます。

3. 借入書を提出する

資金の貸し付けが決定したら、借入書に必要な事項を記入し、本人と連帯保証人の署名・押印（実印）のうえ、印鑑登録証明書とともに、北海道社会福祉協議会に提出します。

生活福祉資金貸付制度について詳しく知りたい、利用について相談したい場合には、社会福祉協議会にお問い合わせください。

資金の種類		資金の目的
1. 福祉資金	福祉費	生業を営む為に必要な経費、病気療養に必要な経費、住宅の増改築や補修などに必要な経費、福祉用具等の購入経費、介護サービスや障害者サービスを受けるために必要な経費 など
	緊急小口資金	緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける少額の費用
2. 教育支援資金	教育支援費	低所得世帯の子どもが高校や高専、大学などに修学するために必要な経費
	修学支度費	低所得世帯の子どもが高校や高専、大学などに入学する際に必要な経費
3. 不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	低所得の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金
	要保護向け不動産担保型生活資金	要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金
4. 総合支援資金	生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用
	住宅入居費	敷金、礼金等住宅の賃貸契約を結ぶために必要な費用
	一時生活再建費	生活を再建するために一時的に必要なかつ日常生活費でまかなうことが困難である費用

温かいご寄付 ありがとうございました

皆様方からの心からの善意が今年3月12日から5月25日まで、総額130,900円となりました。
ご寄付いただいた皆様、本当にありがとうございました。



ディスコダンスサークル サルビア様



函館方面遊技業協同組合様

平成24年

3月12日	函館方面遊技業協同組合	様
3月21日	古木 節子	様
3月21日	國下 豊潤	様
4月23日	ディスコダンスサークル サルビア	様
5月 2日	匿名 様	
5月 7日	匿名 様	
5月25日	國下 豊潤	様

多くの寄贈品 ありがとうございました

使用済み切手、使用済みテレホンカード、リングブル、書き損じはがきなど有効に活用させていただきます。（敬称は省略させていただきます）

山谷、松本久、丸山美佳子、白石大侑、平野八郎、長山顕、阿部照子、穂積華子、渡部雅熙、千田サダ、澤田里美、森田博光、蛸子浩稀、松本経子、伊藤美幸、杉浦義一、真勢和博、寺沢久光、種市ツヤ、松木弘昭、中矢幹夫、古木節子、成田久子、成田遙加、吉田美緒・隆成、川村未侑・里侑、高橋遥奈・大貴、高杉愛・海、田中芳子、澤出一美、上山鉄雄、米塚、坂本牧子、谷村英俊、藤枝悦子、大塚心結、田村敏郎、岩本美智子、小林茂雄、若松時彦、渡部勝夫、永原保雄、駿河和奈、干山誠一、伊藤紀美子、ひふみ会、双六会、羽衣会、やまびこ会、藤城長寿会、峠下長寿会、大沼米寿会、正覚寺通り町内会、鳴川中央町内会、和の会、鳴川長寿会、スナック英己、パソコンクラブ、大沼保育園、藤城保育園、みどり保育園、教育委員会、株加藤栄好堂、しおん会、七飯養護学校高等部、ザ・洗濯屋七飯本町店、(有)ハウジング坂本、ななえゆりん、アップル温泉、老人保健施設あかまつの里ななえ、七飯中学校、あかまつ調剤薬局、フェニックスコート、大中山コモン、社会福祉法人道南福祉ねっと、なかの苑

平成24年1月14日から平成24年6月18日現在

福祉機器のご寄付

佐々木卯浪 様	福祉機器
函館方面遊技業協同組合	
理事長 光金 守弘 様	車椅子
二階堂勝美 様	福祉機器